

# ふれあい



## 八潮中央総合病院は地域とともに成長を続けてまいります。

### 新病院のオープンにあたり

八潮中央総合病院は、昭和48年4月に上尾中央医科グループ2番目の病院として開設し、地域の医療に尽力してまいりました。

八潮市の発展とともに成長を続け、それとともに増築・増床を進めてきた当院ですが、40数年間の歳月により病院本体の老朽化は避けることができず、地域の皆様に安心・安全な医療を提供し続けるためにかねてより移転計画を進めてきたところでございます。

お陰様をもちまして、この程無事に八潮駅北口近くに新病院が竣工となり、来る5月1日に移転開院の運びとなりました。

これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

移転に伴い、ゆとりある快適な療養環境を提供させていただくとともに、最新医療機器の導入を行い、併せまして付属の総合健診センター「みどり診療所」を八潮中央総合病院の健康管理部門として一体化し、新たな八潮中央総合病院として生まれ変わります。

新病院では多くの医師が引き続き診療にあたるため、診療体制の大きな変更はございませんが、私はじめ全職員が気持ちを新たに、医療

の質のさらなる向上と医療安全の徹底を図ってまいります。

今後ますます地域の皆様のニーズは増え続けると思いますが、開院以来の基本方針をしっかりとふまえつつ、さらに「地域から信頼される病院」をめざして地域医療に貢献してまいりたいと思っております。

八潮中央総合病院は、これからも地域の皆様とともに成長を続けてまいります。

今後とも皆様の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。



八潮中央総合病院  
院長 眞田 毅

# 祝 辞



上尾中央医科グループ  
会長 中村 秀夫

八潮中央総合病院の新病院が無事完成し、真田院長はじめ全職員の長年の夢がかなった新たな病院で地域医療に貢献できることは、グループの責任者としてもうれしく思います。

顧みれば、真田院長は私が直接秋田大学に赴いて招へいたもので、平成13年7月の就任以来、24時間救急体制の実施とすべての人が平等に医療サービスを安心して心地よく受けていただける病院づくりに尽力され、現在の八潮中央総合病院へと発展させてきました。

新病院になってからも患者様・利用者様に奉仕する気持ちを忘れず、地域医療貢献にまい進してまいりましょう。

この度は誠におめでとうございます。



上尾中央医科グループ  
副会長 中村 康彦

この度は八潮中央総合病院の新病院オープン誠におめでとうございます。

「上尾中央医科グループ」(AMG)の中で、八潮中央総合病院は上尾中央総合病院に次いで2番目に開設された病院であり、40年余にわたり地域の医療に貢献するとともにグループの中でも先導役としての役割を果たしてきました。

当グループは、1都6県に27病院と21介護老人保健施設等を開設し、また職員数は16,381人を数えますが、グループ発祥からの理念である「高度な医療で愛し愛される病院・施設」は、八潮中央総合病院の職員一人ひとりに脈々と受け継がれ実践されていると確信しております。

今年のグループのテーマは「先見」です。新たなスタートとなった八潮中央総合病院が、常に先を見抜く力をもって地域医療に貢献できるよう期待しております。



八潮市議会議長  
小倉 順子

この度、八潮中央総合病院が関係各位のご尽力により、新たなスタートを切る運びとなりましたことを心よりお祝い申し上げます。

八潮中央総合病院は、「地域から信頼される病院」を理念に、昭和48年4月に開設され八潮市とともに発展し、市民の皆様へ安全・安心な医療を提供されてきました。

これからも、八潮市内唯一の総合病院として、地域医療に貢献されますことを願っております。

結びに、八潮中央総合病院の限らないご発展と関係者皆様のご健勝、ご活躍をご祈念し祝辞といたします。



埼玉県議会議員  
宇田川 幸夫

八潮中央総合病院が南川崎に新築移転し、市民に信頼される病院として開院を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

地域に住みコミュニティを形成する人々にとって最大の関心のひとつは「安心・安全」がどれほど担保されているかだと言えます。

とりわけ総合病院の存在は、市民の安心感をさらに高めます。

私はまちづくりの基本である「健康」を意識しながら県政レベルで地域医療計画等のあり方に取り組む所存です。



前八潮市長  
多田 重美

八潮中央総合病院新築移転竣工、誠におめでとうございます。

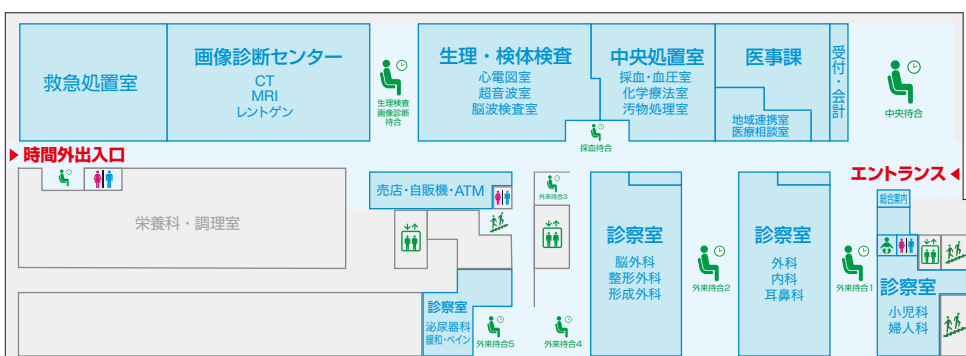
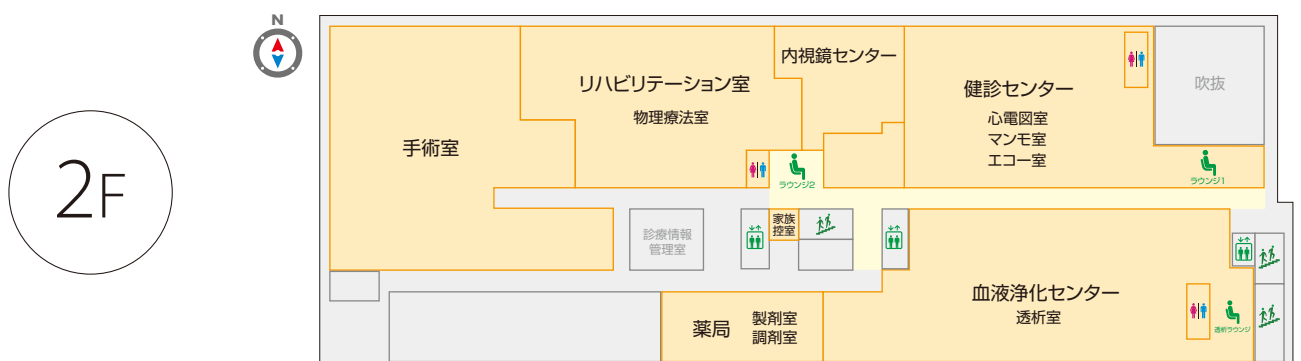
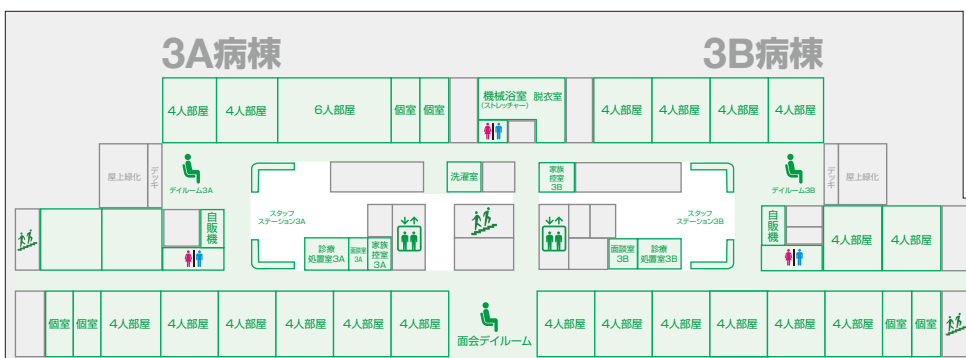
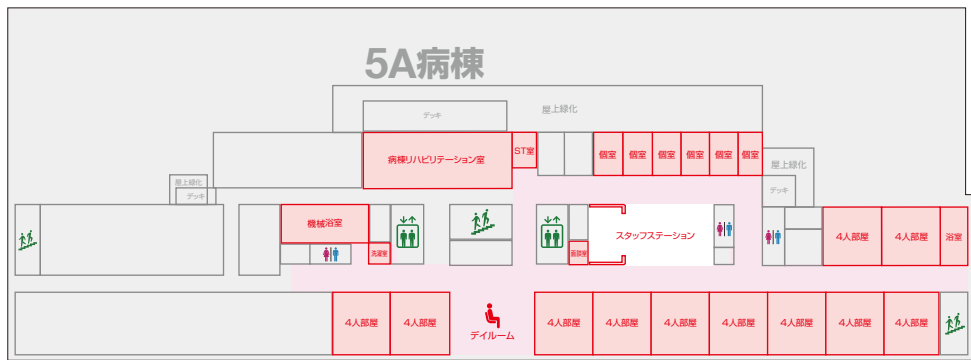
自宅の玄関の扉を開けると目の前に、天を衝くようにモダンで開放的な新病院の建物が目に飛び込んできます。外に出てみると歩いている人によく、新病院の開業時期等聞かれ、開業への関心の高さをひしひしと感じます。

今、南部地区の新しいまちづくりが進む中、八潮駅と新病院の二つの核ができました。

新病院には八潮市民の地域医療の中心的役割と南部地区のまちづくりとの大きな役割が期待されます。

ご発展をお祈り申し上げます。

# 新病院の各階の配置



## 記念対談

八潮市長

大山 忍氏

八潮中央総合病院 院長

真田 毅

### おかげさまで新病院が完成！

**院長**：今日はお忙しい中、お時間を割いていただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

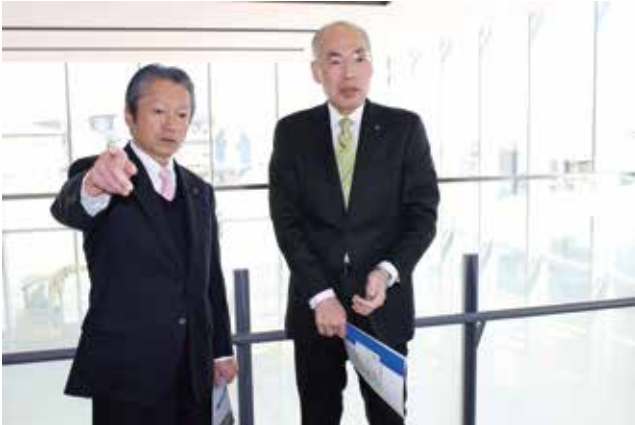
**市長**：こちらこそよろしくお願いします。



**市長**：このたびは新病院の完成おめでとうございます。新病院は駅周辺の利便性があり、明るくて広々としており、健康の拠点として心強い存在です。

**院長**：ありがとうございます。八潮駅から徒歩10分のところに新築し、間もなく移転を迎えることができます。これも地域の皆様のおかげと感謝いたしております。

**市長**：八潮中央総合病院は市内唯一の総合病院として、本市の医療体制充実と市民の健康保持のため日頃から貢献していただいております。



**院長：**今までの当院は40年以上経過しており、限られた敷地に増築・増床を進めてまいりましたので、地域の皆様にもだいぶご不便をおかけしました。

**市長：**明るくゆったりしたスペースで、訪れる皆さんも落ち着いた雰囲気になるでしょうね。

**院長：**はい、新病院の特徴はゆとりのあるスペースの中で、安心して受診していただけることです。鉄筋コンクリート造免震構造で地上5階建てとなり、急性期一般病棟は150床、回復期リハビリテーション病棟と障害者一般病棟がそれぞれ50床ずつで、併せて250床となります。手術室も増室して、消防署とも連携を図りながら地域の救急医療に貢献していきたいと思います。移転に伴い、付属の総合健診センター「みどり診療所」を八潮中央総合病院の健康管理部門として一体化し、新たな八潮中央総合病院としてスタートします。新病院では多くの医師が引き続き診療にあたるため、診療体制に大きな変更はありませんが、私はじめ全職員が気持ちを新たに、医療の質のさらなる向上と医療安全の徹底を図ってまいります。

## お互い健康に気をつけましょう

**院長：**ところで市長は健康のために心がけていることはございますか。

**市長：**毎朝ラジオ体操をやっています。日ごろ運動不足になりがちですが、全身をまんべんなく動かすことができるラジオ体操は効果的ですね。院長はいかがですか。

**院長：**私はあまり決まった運動はしていませんが、毎日歩くことだけは心がけています。

市長のお仕事を進める上で八潮市のトップとして何かとストレスを感じることも多いと思います。ストレス対処法として心がけていることはございますか。

**市長：**そうですね、何事もいやだと思わず「楽しくやる」ということでしょうか。気持ちが前向きになります。また、市民の皆さんの笑顔が私の何よりの元気の源です。市の職員も皆頑張ってくれています。院長は手術などでかなりストレスを感じるでしょうね。

※画像は完成予想図です。



今まで別棟だった当院附属の「みどり診療所」が、新病院2階に「健診センター」としてオープンいたします。

**院長：**はい、私の場合人の命を預かる仕事をしていますから、緊張の連続で疲労感が極度に増していくことがよくあります。しかし手術を終えて患者さまが元気に退院していく姿を目の当たりにすると、何とも言えない達成感があります。このやりがい、病院の仕事に対する私のエネルギーを前向きにし続けています。

**市長：**やはり、いい仕事をするには心も身体も健康でないとできませんね。



## 「住みやすさナンバー1のまち」をめざして

**院長：**私どもの病院は、八潮の発展とともに歩んでまいりました。大山市長は八潮生まれ・八潮育ちで、県議会議員もおつとめになられて八潮を知り尽くしていいらっしゃると思います。この4月からは新しい総合計画基本構想がスタートし、さらなる飛躍が期待されているとうかがっています。

**市長：**そうなんです。「住みやすさナンバー1のまち」をめざして、10年間で計画期間とした総合計画がスタートします。国全体の人口が減少している中、八潮市は着実に人口が増えています。一方で、自治体間競争という言葉があるように、まちの魅力をどれだけ発揮して売り込むことができるか、どういう環境を作っていけるのか、をこの計画に網羅しました。中でも「医療と健康」の問題は最優先で取り組むべき課題です。併せて、子育て、環境問題、生活圏としての防犯・防災など安全性の確保などが挙げられます。

**院長：**広報の記事を拝見し、各部門の政策がきめ細やかに網羅されていることに感心しています。

**市長：**いろいろな方々からご意見を伺いながら策定いたしました。この4月からの計画スタートにあわせて組織改正も行い、新たな体制で職員一丸となって各施策を進めていきたいと思っています。さらに、平成29年度からは「地域包括ケアシステム」が本格的になるため、中核的病院である八潮中央総合病院とご相談させていただきながら進めていきたいと考えます。

## 市民の健康を地域ぐるみで守る

**院長：**おっしゃるように、これからの地域医療で大切なことは、地域内の医療機関が連携しながら、市民の健康を地域ぐるみで守っていくことが重要だと思います。私どもと同じグループの病院で、市内に埼玉回生病院があり、院長同士でいつも連携を図っております。私どもは急性期と回復期・障害で中心的な役割を果たし、回生病院では療養を中心に、互いに協力しながら地域のニーズを的確に捉えて、可能な限り地域に貢献していきたいと思っています。

**市長：**まちの魅力を考えるとき、「健康都市」をつくるということが全国的にも言われ始めています。八潮中央総合病院では、出前講座を積極的に展開しているとうかがっていますが、病院にも行けるし、病院からも外に出てお話や実技をやっていただけるということは、地域の中での安心感、ひいてはまちの魅力につながります。

**院長：**八潮市には公立病院がありませんので、当院が市民病院的に貢献し、市民の皆さんの健康づくりを応援していきたいと思っています。



**市長：**ぜひよろしく申し上げます。私も市民の健康のため、様々な施策を展開していきたいと思っています。

**院長：**当院開設以来の理念である「地域から信頼される病院」をめざして、今後も八潮市と力を合わせて、地域の医療機関と連携を図りながら、よりよい病院にしていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

## PROFILE



大山 忍 (おおやま・しのぶ)  
八潮市長

八潮市出身。成蹊大学工学部を卒業し、国会議員秘書、埼玉県議会議員を経て平成25年9月に八潮市長に当選。「住みやすさナンバー1のまち」をめざして活躍中。



真田 毅 (さなだ・たけし)  
八潮中央総合病院院長

神戸市出身。秋田大学医学部を卒業し、平成8年に外科部長として当院に入職。副院長を経て平成13年7月から院長をつとめる。専門は一般外科・胸部外科。

病院理念 「地域から信頼される病院」

基本方針

私たちは、以下の基本方針を遵守し、  
信頼される病院を目指します。

1. 安心・安全な医療の提供
2. 紹介患者・救急患者の積極的な受入れ
3. 総合病院としての機能と充実
4. 教育研修の向上と研鑽
5. 患者さまの人格を尊重した医療

患者さまの  
権利

私たちは、以下の権利を尊重します。

1. 適切な医療を受ける権利
2. 人権とプライバシーが保護される権利
3. 医療情報の説明を受ける権利
4. 医療行為を選択する権利
5. 診療録の開示を求める権利
6. 他の医師に意見を求める権利(セカンドオピニオン)

シンボルマークが決まりました!



## 八潮中央総合病院

八潮中央総合病院の頭文字である「Y」をモチーフに未来感のあるシルエットで表現しました。ブルーの配色で清潔感を表わし、上部のオレンジ色の球体は健康への願いを表現しました。新病院とともにシンボルマークが決まり、これからも地域のみならずとも気持ち新たに成長を続けていきます。

### 新病院案内マップ



上尾中央医科グループ 医療法人 社団協友会

## 八潮中央総合病院

〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地  
TEL 048-996-1131 FAX 048-997-2135  
<http://www.yashio-cgh.jp>



日本医療機能評価機構認定